



地図に地域の居場所を記録



活発な意見



千代田中学校地区協議体の立ち上げ



# よっかいどう 支えあい通信

## 第3号 ～支えあいの仕掛け人～

### 『ささえあいチーム千代田』誕生

千代田中学校地区では、昨年11月の千代田公民館での開催を皮切りに、様々なテーマで「支えあいを考える会」を続けて来ました。4回目には大きな地図に「3つのS」をマッピングし、居場所が沢山ある地域や、ない地域も多くあることを確認し合いました。「居場所をつくる活動は自治会のような小さな単位が理想的」「その為には全地域に支えあいの必要性を広げる仕掛け人が必要」「自分たちがその役割を担っていこう」と考えがまとまり、5月には「支えあいチーム千代田」と命名し、千代田中学校地区の協議体が産声をあげました。今後私たちができることを話し合っていきます。また、八木原小の地域福祉館では、毎月第2・第4火曜日（8月はお休み）14時～15時半まで、地域の介護施設、くらしサポートセンターみらい、地区社協、民生委員、包括支援センターが交代で「よろず相談所」を開設。何でも気軽におしゃべりやご相談ができる場となっていますので、是非ご利用ください。

**よろず相談所**

毎月 第2・第4火曜日  
(8月はお休み・日曜日は裏面に記載)  
時間 14時00分～15時30分  
場所 地域福祉館（八木原小学校敷地内・案内図参照）

**相談無料**

- ・1人暮らしが不安です。
- ・夫婦二人で生活しています。今後が心配。
- ・寝るくたが足りません。
- ・おしゃべりできる場所はどこにあるの？
- など・・・お気軽にご相談ください！

つらくなります

《よろず相談所ちらし》



こんにちは！

生活支援コーディネーターの  
田中です。

昨年度は各地域のおしゃべり会を通じ、地域の繋がり・支えあいの熱い思いを沢山いただいた年となりました。

令和元年度は、地域の皆さんと一緒に歩いて行ける範囲の「参加の居場所」「相談」「支援」の3つのSづくりを少しずつ形にしていきたいと思っています。

千代田中学校地区では、支えあいの風土を広げようと集まった住民の皆さんが、5月に第2層協議体「支えあいチーム千代田」を発足。旭中学校地区では、6月に情報交換の場として「全体会」を開催。西中学校地区の桜ヶ丘中央区とさつきが丘では居場所づくりの取り組みが開始され、「支えあいの風土を作ろう」が広がっています。

発行

〒284-0003

千葉県四街道市鹿渡無番地

総合福祉センター分館

四街道市地域包括支援センター

生活支援コーディネーター

田中 悦子

電話：043-420-6070

FAX: 043-424-6707

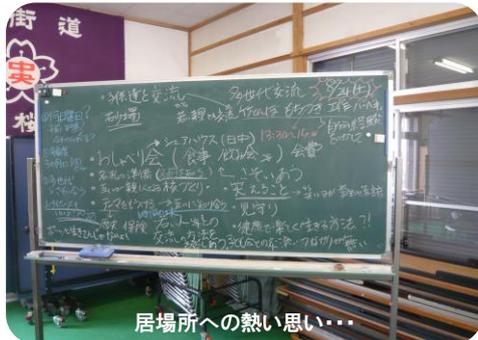
発行：2019/7月



西中学校B地区の桜ヶ丘中央区では、「区民で支えあう笑顔の中央区」をキャッチフレーズとして、3つのS(参加のS、支援のS、相談のS)に取り組むべく、小さいお子さんから高齢の方までが繋がる居場所づくりが始まりました。5月29日の第1回会合では、小方区長の「自分たちの住む地域は、自分たちで良くすることを考えて動いていこう」という言葉でスタートしました。参加者から黒板に書ききれないほどの意見が出され、居場所づくりへの熱い思いを感じました。



みんなで支えあいゲームを体験



居場所への熱い思い・・・



発起人の小方さん、鈴木さん、下重さん、鈴木さん

発起人：鈴木美子さんの思い

桜ヶ丘中央区のシニア会（さくら倶楽部）の目標に「共助」があります。年齢を重ねると、助けることよりしてもらうことばかりで、電球交換や庭の手入れすらできなくなります。でも、こうして集まることも「共助」のうちに入るのではと思ったのがきっかけ。支えあい2号の笹原さんのお話がとても心に響き、小方区長に相談したら、「よし！」とすぐに動いてくれました。

発起人：下重さんの思い

良く知っている人が、ヨーカドーから重い荷物を抱えて歩いているところを通りかかり、お手伝いしながら一緒に帰ると、とても喜んで下さいました。地域でも知らない人が沢山います。そんな人とも「こんにちは」と気軽に声かけできる地域になりたいと思ったのがきっかけ。まずは、小さいことから始めていき、その先に「支えあい」があるのだと思います。



旭中学校地区：みそらの輪



旭中学校地区：支えあい全体会



西中学校A地区：活動拠点オープニング



北中学校地区：支えあいを考える会

市内の地域支えあいの動き

ちょこっと困りごと  
サポーターの掲示  
(旭ヶ丘)



西中学校B地区：地域の支えあいを考える会



北中学校地区：マッピングとカードゲーム

